

あの子も  
この子も  
みんなの子

# 前橋のPTA

発行所 前橋市PTA 連合会  
発行人 狩野 恭弘  
編集者 井上 千恵美  
責任者  
https://www.sites.google.com/view/maebashipta  
印刷所 上毎印刷工業株式会社

## 日本PTA会長表彰

### 地域や学校に愛着をへくむPTA活動

前橋市立桃木小学校PTA



昨年度の優良PTA 群馬県教育委員会表彰に続き、この度さらなる受賞の栄誉をいただきました。これまでの本校PTAの活動を支え、歴史と伝統を築いてきてくださった諸先輩方に感謝するとともに、今後も子供たちの豊かな学校生活と健全

なる成長のために活動していきたいと思えます。本校のPTA活動の特色として挙げられる一つに「ラブ・リバー活動」があります。地域の「桃ノ木川を愛する会」や自治会の皆さんの協力を得ながら川沿いの遊歩道の花壇の整備を行ったり、学校行事と連携し「親子クリーン作戦」として清掃活動を行ったりしています。こうした地域の環境・景観を保全する「ラブ・リバー活動」は、本校にとって、地域の方々や自然に愛着をもち、大切にしようという気持ちを育む重要な活動となっています。

また、「土曜ふれあい広場」として、PTAバザーや親子奉仕作業などの活動も行ってきましたが、近年は、このコロナ禍により、PTAの活動もなかなか思うようにできない状況にあります。そこで、QRコードを各会員に配付して総会資料をスマートフォンなどで読み取り、フォーム上で回答してもらおうシステムの構築など新たな試みも行いました。時代に合わせて役員制度の見直しや活動のスリム化を図り、これからも地域や学校とともに活動を続けていきたいと考えています。



## 優良PTA群馬県教育委員会表彰

### 「変化」をチャンスに！

前橋市立荒牧小学校PTA



コロナ禍により、私たちの生活は様々な「変化」を余儀なくされています。学校の教育活動やPTA活動、地域活動等の自粛や中止、延期が相次ぎ、なかなか例年どおりに運営できない状況の中、私たちPTAは、子供たちのために何ができるか、改めて問われています。

そのような状況を踏まえて、私たち荒牧小学校PTAは昨年度は「心身健やかに！荒牧っ子をワンチームで支えていこう！」、今年度は「深めよう『絆』」を親子・学校・地域をスローガンに掲げ、ワンチームで取り組んできました。また、活動制限の多いコロナ禍の中、既存の事業の見直しも行いました。その中で、特に工夫した事業が「あらまきクロスワード」です。本事業は、本部役員を中心に保体委員・厚生委員が連携・協働し、企画・運営しました。具体的な内容としては、子供たちが考案した地域や学習内容等に関する問題をもとに、学年ごとのクロスワードを作成しました。参加した子供たちには、景品として文房具を配付しました。子供たちや保護者からは「家族でクロスワードに取り組んで楽しかった。」等の感想が寄せられました。前記事業の他にも体育的な学校行事への支援やPTA新聞の発行、自治会や交通指導員等と連携した「防犯パトロール」や「あぶないよマップ」の作成、学校医や学校薬剤師と連携した「あらまきこどもの食事を考える会」等の活動にも積極的に取り組んでいます。

「子供たちの笑顔のために！」という熱い思いを教職員と共有しながら、新規事業の実施に向けて試行錯誤・創意工夫したことで、関わったスタッフ同士の「絆」の一層の深まりを実感しました。現状では、感染症対策として「密」は避けなければなりません。しかし、「心の距離」ができたわけではありません。「思いやり」が「絆」を生み、そして、喜びを分かち合う仲間を結びつけます。大人たちが「絆」を結んだその先には、子供たちの明るい未来が待っていると信じて…。



## 挨拶



市P連会長

狩野 恭弘

日頃より、前橋市PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただきまして心より御礼申し上げます。

令和三年度の市P連事業は昨年度同様、例年行われていた行事をほとんど開催することができませんでした。PTA組織は、児童生徒の健全育成を図り、安心安全な学校生活が送れるよう、大人たちが協力し合いサポートしていくことが本来の姿であります。今年度は関係各機関との連携が希薄になり、満足のいく活動ができなかったと感じています。しかし、限られた活動の中で、最も重要視している学区別教育懇話会が七学区のうち五学区において開催できたことは幸いだったと思います。中止になってしまった学区を含め、準備・運営等を行っていただいた関係者の方々には大変感謝しております。

コロナ禍はもうしばらく続くと言われていますが、この様な状況下でも、子供たちは「勉強・運動・遊び」を通して経験を積み、成長していきまします。各単位PTAには、引き続き「子供たちのために」活動することが出来る組織づくりをお願いいたします。そして、大切な子供たちにはできる限りのサポートをお願いいたします。

前橋市PTA連合会では、今後とも保護者の皆様や学校、関係各機関と連携し、「子供たちのために」サポートする組織として活動して参りたいと思います。引き続きご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 市P連一年のあゆみ

## 「子供と共に育もう、こころの豊かさ たくましさ」

### 令和3年度 前橋市PTA連合会の活動

<>は市P連以外の主催による事業

月	日	主な事業	実施状況
4	14	家庭教育代表役員会	中止
		役員推薦委員会・第1回役員会	新旧でやりました
5	12	広報研修会	中止
	27	定期総会準備	中止
	28	定期総会・懇親会	書面開催 懇親会は中止
6	4	青色防犯パトロール実施者講習会	書面開催
	4	<県P連定期総会>	書面開催
	17	第2回役員会	中止
	23	第1回会長会議	中止
7	26	<中部教育事務所管内PTA指導者研修会>	オンライン開催
	-	社会を明るくするパレード	中止
8	8	前橋市PTA研究大会	中止
	19	第3回役員会	縮小開催
	21	<日P全国研究大会 北九州大会>	オンライン開催
10	24	第2回会長会議	中止
	15,16	<関プロ研究大会 埼玉大会>	オンライン開催
9	4	<県P家庭教育研究集会>	縮小開催
	-	学区別教育懇話会	全7学区中5学区で開催
12	4	<県P大会 伊勢崎大会>	書面開催 講演会の動画配信
	13	第4回役員会	開催
1	28	第3回会長会議	書面開催
		懇親会	懇親会は中止
2	17	第5回役員会	書面開催
	5	<県P会長研修会>	オンライン開催
3	上旬	前橋市PTA活動実践事例集(32集)	
	上旬	広報紙「前橋のPTA」(76号)発行	

### 市P連 今年度の取組

前橋市PTA連合会では、どの事業も例年どおりの開催が難しい中で、「子供たちが安心・安全に毎日を過ごせること」を最も優先すべきこととして位置づけました。そして、そこにつながる各単位PTAの活動を支援できるよう事業計画を見直し、開催や運営の方法を工夫しました。

例えば、「青色防犯パトロール実施者講習会」については、県警の指導のもと、100名ほどの希望者に書面で講習を開催し、参集することなく実施者証の交付をすることができました。また、年3回開催予定であった会長会議を感染症拡大防止のため中止としました。そこで、第2回会長会議の分科会で話し合う予定であった学区別教育懇話会のテーマについてアンケートを行い、各単位PTA会長のご意見を反映してテーマを決めました。また、第3回会長会議の分科会で協議予定であった学区別教育懇話会の総括についてもアンケートにより会長のご意見、ご感想等を集約し、次年度への引き継ぎとしました。

今年度も「子供たちのために活動する」を常に意識し、できることを工夫して取り組んだ一年となりました。今後も、状況に応じた工夫と変革により、子供たちのためのPTA活動を進めて参ります。



<令和3年度学区別教育懇話会についてのアンケート>

### 第66回 群馬県PTA大会 伊勢崎大会

子どもたちの輝く未来のために  
～親子の会話が未来を拓く～

群馬県PTA大会は、群馬県下のPTA会員が一堂に会し、子どもたちの健全育成活動をより強力に推進することができるよう学習を深めるとともに、実践活動への意欲を高めるという目的で毎年行われています。

今年度の伊勢崎大会は、「子どもたちの輝く未来のために～親子の会話が未来を拓く～」のテーマのもと、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、書面とライブ配信での講演会による開催となりました。

講演会は、兵庫県立大学竹内和雄准教授による「スマホ時代の子どもたちのために」という演題で、パネルディスカッション形式で行われました。7名のパネリスト(小・中・高校生4名と保護者3名)が事前にアンケート調査した伊勢崎市の小中学生のスマホ利用の実態をもとに話し合いました。その様子はYouTubeでライブ配信されました。また、各単位PTA会員に事前にQRコードを通知し、約2か月にわたって会員が自由に動画を視聴できるようにしました。

withコロナ時代に合わせた方法や工夫により、第66回群馬県PTA大会～伊勢崎大会～は開催され、地域・家庭・学校が連携・協働し、子どもの未来のために活動し続けていくことを宣言しました。

### 市P連役員として

子供についてのことわがざが多々あります。「親は無くとも子は育つ」「親の背中を見て子は育つ」など。結局のところ子供の成長は大人の我々の影響を受けるものと考え、この一年間、子供の手本となるよう、行動してきたつもりであります。



市P連役員として、PTA会長として、親として、まだまだ子供に教えてもらうことが多く、私も一緒に成長していきたいと思う今日であります。

「子供のために、めんどくさいはだめですよ」という市P連会長の言葉は今でも覚えております。

これからも、点検だけではなく、不備は正すという考えのもと、子供のために、PTA活動に取り組んでいきたいと思ひます。(文責/幹事 阿部)

### 家庭教育代表幹事

- 持木 豊 T
- 高橋 亨 T
- 山崎裕美子 T
- 松村 澄人 T
- 太田 英人 T
- 多賀谷雅之 T

### 教職員代表幹事

- 河原 智康 P
- 阿部 宗臣 P
- 庭野 剛治 P
- 高津 宏之 P
- 大澤 智 T
- 霜田 拓也 P
- 齋藤 信吾 P
- 塩原 大輔 P
- 狩野 恭弘 P

### 幹事

- 第一中
- 敷島小
- 木瀬中
- 駒形小
- 第一中

### 副会長

- 山王小
- 桂置東小

令和3年度  
市P連役員

前市P連家庭教育委員長

村井 裕佳 P

前市P連幹事

内田 大輝 P

前市P連会長

顧問

吉澤 守和 P

井上千恵美 P

田口 徳子 P

星野 由美 P

大西 美鮎 P

小林 美里 P

林 裕子 P

藤澤 結花 P

# 前橋の子育て これだけは

前橋のどこの家庭でも 子供たちに身につけさせたい躰親として持っていたい心構え

平成17年度から市P連が家庭教育力の向上を目指して示している「前橋の子育て これだけは」。これは、前橋のどこの家庭でも子供たちに身につけさせたい躰、親としてもってほしい心構えです。これをもとに、各単位PTAは様々な活動に取り組んできました。

※各校の具体的な取組は、前橋市PTA連合会のホームページに実践事例集として掲載されています。  
<https://www.sites.google.com/view/maebashi-pta>



## 子供たちにこれだけは

- 思いやりの心を持つ
- 人にめいわくをかけない
- うそをつかない
- あいさつをする
- やくそく・ルールを守る
- 自分のことは自分でする

## 親としてこれだけは

- 明るく愛情ある家庭をつくる
- 子供との対話を大切に
- 良いことは褒め、悪いことは叱る
- 子供の意思を尊重する
- 思いやりの心を教え示す
- 社会のルールを守り教える

## 学区別教育懇話会

### 令和3年度 学区別教育懇話会 内容一覧

学区・日時・場所・当番校	テーマ	主な話題・内容
第1学区 11月19日(金) 第三コミュニティセンター 城南小PTA	やくそく・ルールを守る	・ルールの必要性を教え、話し合いにより子供が納得して守れるルールをつくる。 ・子供たちはルールをよく守っている。そのことを認め、称賛する。 ・親がルールを守る姿を見せ、模範を示す。 ・親(大人)がタブレット以上に楽しいことを経験できる機会をつくる。 ・毎日の繰り返しの中で、時間で始める・時間で終わりにするなど時間の上手な使い方を教え、意識を高めていく。
第2学区 11月10日(水) 富士見中 富士見中PTA	子供の自立と親の自律	・価値観が多様化し、思いやりについて考えることや人とコミュニケーションを図る機会が不足している。地域行事に積極的に参加させて、幅広い年代と接する機会をつくる。 ・親が一方向的な意見の押し付けや決め付けをしたり、口出し、手出しなど過干渉になってしまったりしている。親は、子供を見守る勇気をもつ。 ・対面で遊ぶ場所や機会が少ないため、社会性が身に付きづらい。集団の中で、多様な人との関わりを通して学ばせる必要がある。
第3学区 10月19日(火) 下川淵公民館 下川淵小PTA	「人に迷惑をかける」は正しいのか?	・「迷惑をかけない」とらわれすぎてしまうと、自分の思いで行動できなくなり、「助けて」と言えなくなってしまう可能性がある。 ・親が具体的な場面を取り上げて話し合い、相手はどう思うかどう感じるかについて考えられる力を育てていく。 ・これからの共生社会に向けて、自分の考えや思っていることを整理して相手に伝える力、お互い様という寛容さで納得できる力、状況に応じて正しく判断して行動する力を育てていく。
第4学区(開催中止) 9月28日(火) 総社公民館 元南小PTA	自分のことは自分でする	☆開催時期が緊急事態宣言の発出中であったため、中止いたしました。
第5学区 11月5日(金) 総合福祉会館 桃木小PTA	社会のルールは守り教える	・ルールは人が助け合い支え合って生きていくためにあること、ルールを守らないと迷惑がかかり、自分も相手も傷つくことを教えていく。 ・話し合いを通してルールを決めて、子供が納得できるようにする。 ・子供はネット社会への抵抗が少ない。だから、親は放任することなく、相手が見えないやり取りの怖さや危険について教え、子供が正しい使い方ができるようにしていく。 ・デジタル化は進み、環境もルールも変わっていく。親が学び、子供に教えていく。
第6学区 11月26日(金) 城南公民館 駒形小PTA	子供との対話を大切に	・子供の体験や興味などから話題づくりをして、話しやすい状況を用意につくったり、時間を設けたりする。 ・無理に聞き出すことなく、子供が話すのを待つ。 ・子供の話を否定せず最後まで聞いて、親の思いを押しつけずに受け入れる。 ・兄弟姉妹を比べることなく、子供一人一人のよいところを見つける。 ・「見つめる・ほほえむ・話しかける・ふれる・ほめる」の5つを意識して、実践する。
第7学区(開催中止) 10月1日(金) 粕川公民館 月田小PTA	約束・ルールを守ろう	☆開催時期が警戒度4であったため、中止いたしました。



各学校のPTA活動の充実と家庭教育の向上、家庭と学校、行政との連携を深めることを目的として、学区別に教育懇話会を

開催いたしました。今年度も、感染症対策を十分に講じながら、「前橋の子育て これだけは」の中からあらかじめ選択したテーマについての懇話会が、小グループに分かれたり道具を活用したりと様々な工夫のもと行われました。



懇話会では、子供たちを取り巻く様々な問題について、各校のPTA会長と校長先生、教育長や教育委員など市教委の方々、それぞれの立場から成功例や失敗例を含めた具体的な取組事例などを紹介し合いました。また、子供たちが置かれた環境や状況の的確な把握と成長過程における適時適切な支援の重要性、子供たちの健やかな成長のための具体的な方法などについて熱心に話し合いました。

学区別教育懇話会を通して、家庭と学校、そして行政が連携していくことが大切であることを改めて認識することができました。

## 学区別教育懇話会を終えて

皆さんは、上記のような活動をご存知だったでしょうか？ 正直なところ、私はPTA役員をするまで知りませんでした。

教育懇話会では、学区ごとに決めたテーマについて、P(保護者)とT(学校)と行政(教育委員会)の代表者が、教育の充実を図ることを目的として話し合うものです。ここでは、P(保護者)の皆さんが子育てをする上での問題点や課題について話し合われますので、皆さんの貴重なご意見をPTAに届けてください。

子供たちの健やかな成長のために、PTAと行政が一体となつて向き合えることが、教育懇話会の意義であると思います。

(文責/副会長 齋藤)

## 会長会議と学区別分科会

各単位PTA会長の出席により年3回開かれる会長会議では、全体会と学区別分科会が行われます。とくに全体会終了後に学区ごとに分かれて行われる学区別分科会では、各校のPTA活動の実態や取組についての情報交換や学区別教育懇話会のテーマ決め(第2回会長会議)、総括等(第3回会長会議)を行っています。

残念ながら、今年度は、感染症拡大防止のため会長会議のすべてが中止となりました。そこで、学区別教育懇話会についてアンケートを実施して単位PTA会長のご意見等を集約することで、市P連活動の充実を図り、さらに次年度への引き継ぎ等を行いました。

# わたしたちの

# P T A

＝ 仲間通信(41) ＝



## 鎌倉中学校

◆前橋市立鎌倉中学校PTA  
 鎌倉中学校では、地域とつながる学校づくりを基本理念とし、「目指せ前橋No.1」のスローガンのもと、地域と連携した多様な体験活動を実施するなど、学校・家庭・地域を結ぶPTA活動を積極的にを行い、学校と協働して生徒を育てる実践を行っています。

具体的な活動内容として、「あいさつ運動」を通して、社会の中で生きていく力を育成し、「花いっぱい運動」を通して、自然環境保護に対する気持ちを高め、「制服の廉

価販売」を通して、物を大切にする意識をもたせるなどしています。

本校では、保護者や地域と一体となつて子育てを行っています。また、地域行事に参加し幅広い世代とふれあいながら「地域に開かれた学校」として教育活動を推進しています。

しかし、コロナ禍により、様々な行事への参加の機会を失ってしまったため、新たな教育活動や地域との連携を模索していきたいと思ひます。



## 駒形小学校

◆前橋市立駒形小学校PTA  
 駒形小学校は、今年一五〇周年を迎えます。私たちPTAも発足以来「子供たちのためのPTA活動」を念頭に、会員相互の協力のもと、様々な活動に取り組んでいます。コロナ禍で多くの行事が中止となつてしまいましたが、旗振りやWB当番等子供たちの安全にかかわる活動は全員の協力により実施しています。

また、私たちPTAは、地域との連携も大切に行っています。特に六年生のキャリア教育プログラムは、地

元企業の方々を学校にお招きして、子供たちに職業理解・地域理解を促すことをねらいとしたもので、PTAが主体となつて企画運営しています。昨年はコロナ禍のため中止となつてしまいましたが、今年は大ブレットを活用するなど、新しい形での実施を計画しています。

これからも、学校・家庭・地域をつなぐPTAとして、子供たちのための活動を大切にしたいと思ひます。



## 桂萱東小学校

◆前橋市立桂萱東小学校PTA  
 本校のPTAは、学校のスローガンである「かがやく ひとみ かいひがし」の実現に向けて、学校や地域と連携・協力した活動を実践しています。

安心・安全の確保としては、登校時の旗振りや夏休みの防犯パトロールを実施しています。また、運動会や持久走大会では、会場準備や当日の運営補助を行っています。また、家庭教育の一助となるように「命を育む講座」や「情報モラル講座」を、

親子行事として開催しています。

広報活動では、学校行事や職員紹介を中心とした広報紙を、年に2回発行しています。紙面の充実を図るために、カラー版に変更した令和元年度版は、群馬県PTA広報紙コンクールで優秀賞を受賞しました。

長引くコロナ禍の影響で、学校生活やPTA行事が中止や縮小されていますが、新たな生活様式を取り入れつつ、児童のためのPTA活動に取り組んでいます。



### 受賞 おめでとうございます

(敬称略)

- ◇日本PTA会長表彰  
 桃木小学校PTA
- ◇優良PTA群馬県教育委員会表彰  
 荒牧小学校PTA
- ◇第三十五回群馬県PTA広報紙コンクール(令和二年度広報紙)優秀賞  
 山王小学校PTA  
 駒形小学校PTA  
 大胡中学校PTA

### 佳作

- 中川小学校PTA
  - 天川小学校PTA
  - 桃瀬小学校PTA
  - 細井小学校PTA
  - 春日中学校PTA
  - 富士見中学校PTA
  - 群馬大学共同教育学部附属中学校PTA
- 奨励賞
- 桃井小学校PTA
  - わかば小学校PTA
  - 荒子小学校PTA
  - 群馬大学共同教育学部附属小学校PTA
  - 第七中学校PTA
  - 芳賀中学校PTA

### 編集後記

今年度も前橋市の子供たちのためにご尽力いただきました会員の皆様は、心より感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の中での活動にご配慮、ご協力をいただきました。引き続き感染症対策を取りながら、安心して安全な学校・地域になるように活動をしていきたいと思ひます。

夏には、一年遅れで東京オリンピックが開催され、最多メダル獲得数に感動をいたしました。特に若い選手の活躍が目立ちました。ぜひ、子供たちが意欲的に活動できることを伸ばしていただける大人でありたいと思ひます。

令和四年度以降も、前橋市の子供たちのために、学校と家庭と地域が一体となつて活動してほしいと思ひます。

一年間、ありがとうございました。

※次回の仲間通信(令和四年度)は  
 桃木小・荒子小・木瀬中です。